

**2006年3月期  
決算説明会資料  
(2005年4月～2006年3月)**

**ニッシン債権回収株式会社  
(東証マザーズ 8426)**

**2006年5月**

この資料に記載されている内容は、当社及び当社グループのご案内、事業説明等を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。

なお、この資料の記載内容は予告なしに変更または修正する可能性があります。

## [ 将来予測に関する記述について ]

本資料には、当社グループの意図、信念、現在及び将来の予測、または連結、個別の業績、財務状況に関する経営陣の意図、信念、現在及び将来の予測に関する記述が収録されております。記載されている歴史的事実以外の将来に関するすべての記述につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予測であります。かかる将来予測に関する記述は、将来の業績を保証するものではなく、潜在的なリスクや不確実性を伴うものであり、実際の業績は様々な要因により将来予測に関する記述とは大きく異なる可能性がありますのでご留意ください。

実際の業績に影響を与えうる潜在的なリスクや不確実性を伴う要因には、以下のようなものが含まれます。

- ・ 日本国内の経済環境の回復に伴う不良債権の流動化市場の収縮
- ・ 競争激化による特定金銭債権の買取価格の水準の高騰、及び受託手数料の低下による利益率の下落
- ・ 回収期間の長期化による収益性の悪化
- ・ 債権管理回収業に関する特別措置法の改正
- ・ 好条件での資金調達先の有無及び金融政策等の変更による影響
- ・ 親会社である㈱ニッシンの事業戦略、及び経営成績等
- ・ 当社が利用する情報、基幹システム、及びネットワークシステムの信頼性

ただし、業績に影響を与えうる要因はこれらに限定されるものではなく、リスクや不確実な要素には、将来の出来事から発生する重要かつ予測不可能な影響等によって、新たなリスクや不確実な要素が発生する可能性があります。

# 2006年3月期 連結業績

# 業績ハイライト・トピックス

## ・業績ハイライト

不良債権を基軸とした投資の多様化により、投資及び利益面ともに大幅増加。

投資総額 37,810百万円 (前期比 93.2%増)

経常利益 4,029百万円 ( 同 128.7%増)

当期純利益 2,353百万円 ( 同 130.2%増)

## ・トピックス

株式会社アイユーと業務提携

上海産権集团有限公司と合弁基本合意書締結

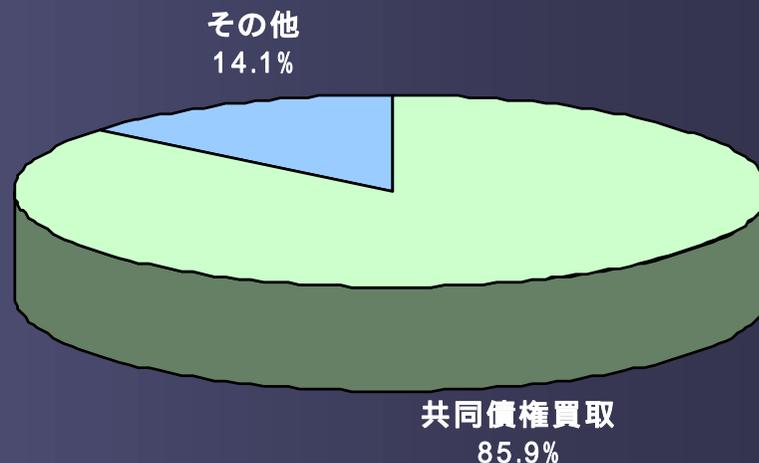
三洋パシフィック投資顧問株式会社への追加出資により関連会社化

# 連結投資実績

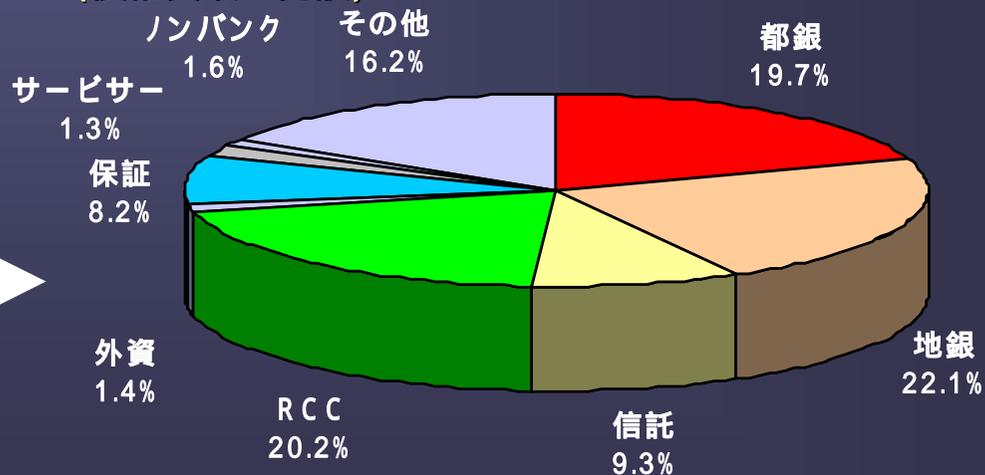
(単位:百万円) (匿名組合出資の内訳)



■ 債権買取 ■ 不動産買取 ■ 匿名組合出資

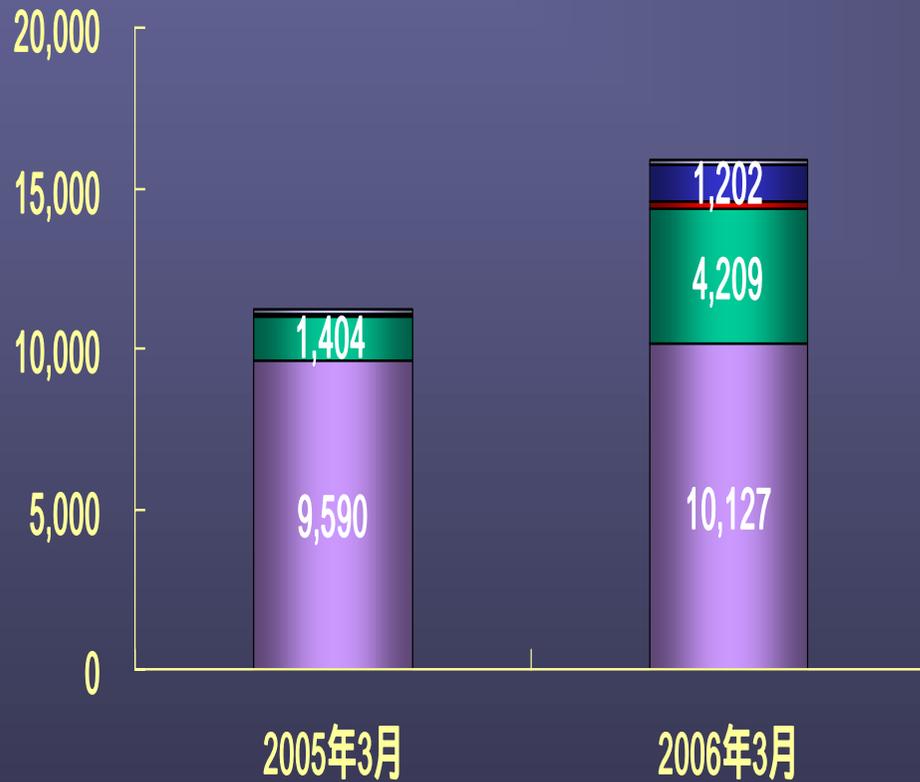


(債権買取の内訳)



# 連結営業収益の内訳

(単位:百万円)

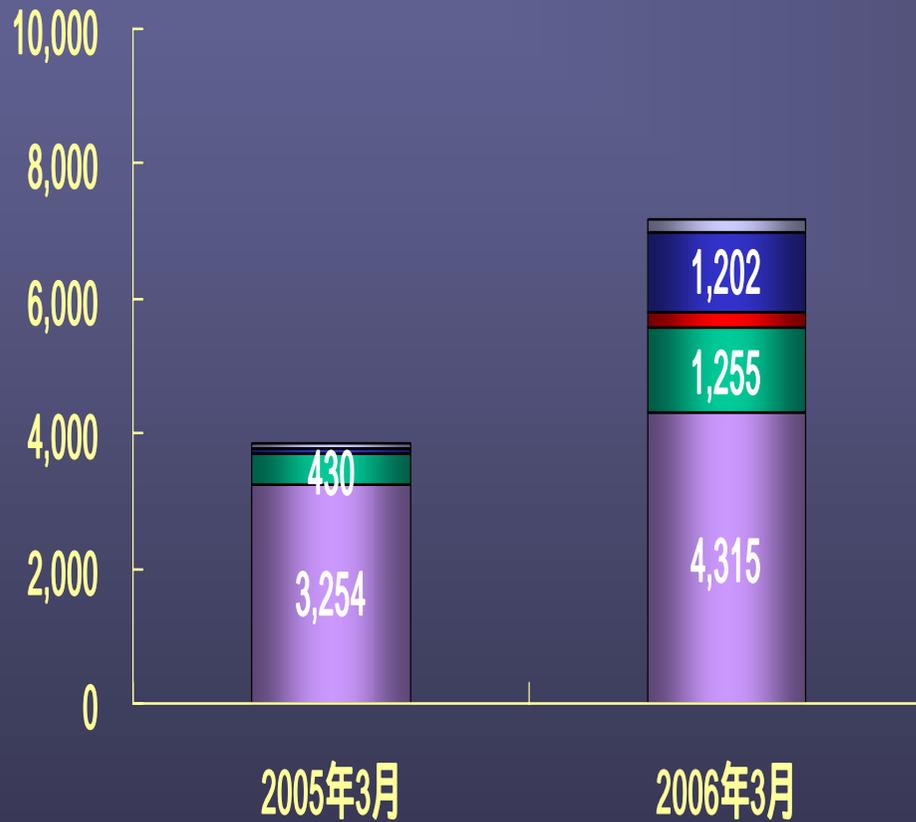


- 買取債権回収高
- 買取不動産売却高
- 受託手数料
- 匿名組合出資収益
- その他

	2005年3月		2006年3月		前期比
	金額	構成比	金額	構成比	
営業収益	11,198	100.0%	15,947	100.0%	42.4%
買取債権回収高	9,590	85.6%	10,127	63.5%	5.6%
買取不動産売却高	1,404	12.5%	4,209	26.4%	199.7%
受託手数料	22	0.2%	219	1.4%	890.2%
匿名組合出資収益	89	0.8%	1,202	7.5%	1,246.8%
その他	91	0.8%	188	1.2%	105.3%

# 連結営業総利益の内訳

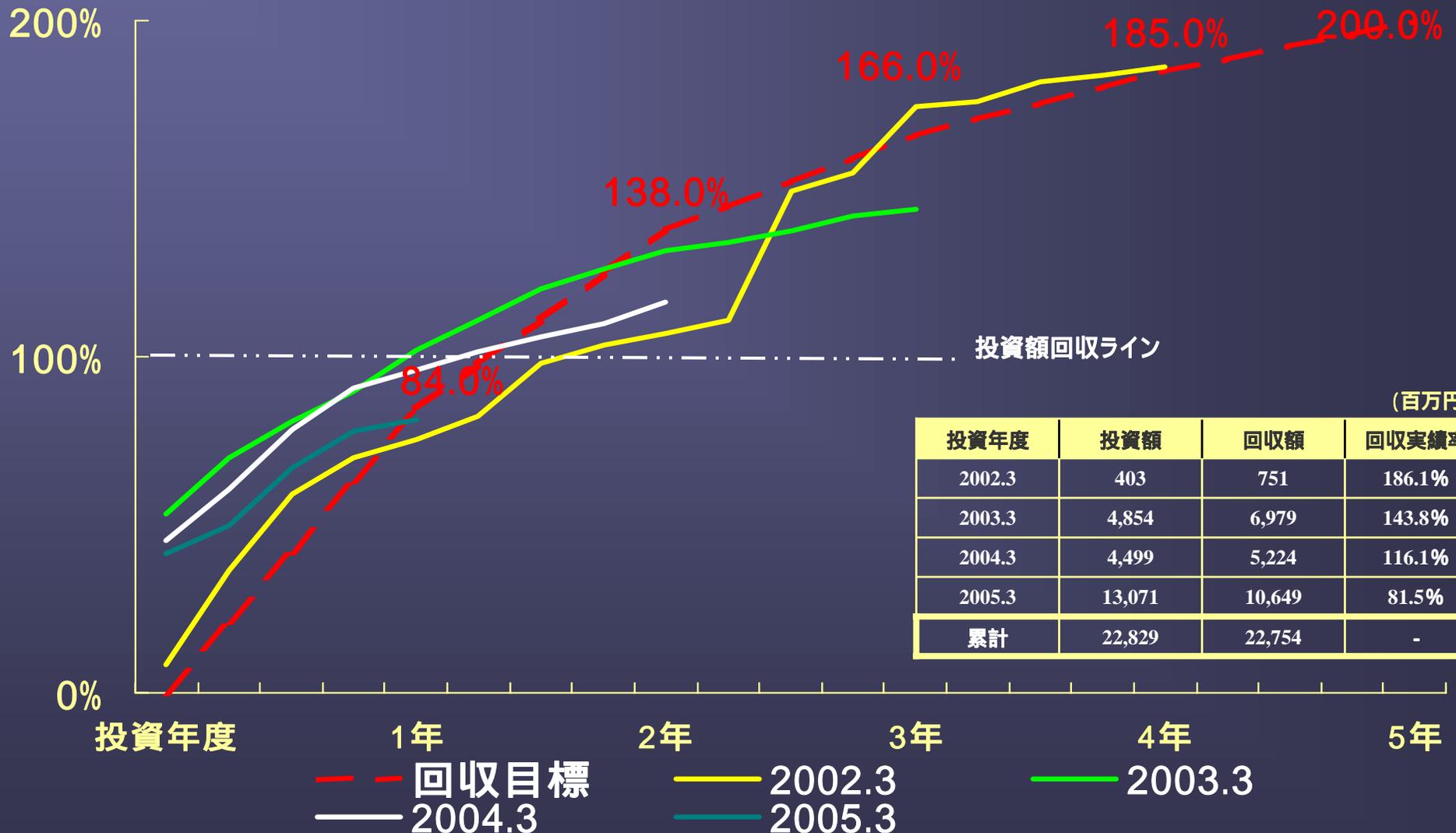
(単位:百万円)



	2005年3月		2006年3月		前期比
	金額	構成比	金額	構成比	
営業総利益	3,860	100.0%	7,172	100.0%	85.8%
債権回収益 (原価率)	3,254 (65.5%)	84.3%	4,315 (55.0%)	60.2%	32.6%
不動産売却益	430	11.2%	1,255	17.5%	191.6%
受託手数料	22	0.6%	219	3.1%	890.2%
匿名組合 出資収益	89	2.3%	1,202	16.8%	1,246.8%
その他	63	1.6%	179	2.5%	183.2%

- 債権回収益
- 買取不動産売却益
- 受託手数料
- 匿名組合出資収益
- その他

# 買取債権回収実績率の推移(投資年度別)



2006年3月迄の個別数値です。

# 買取不動産売却高の状況

(単位:百万円)

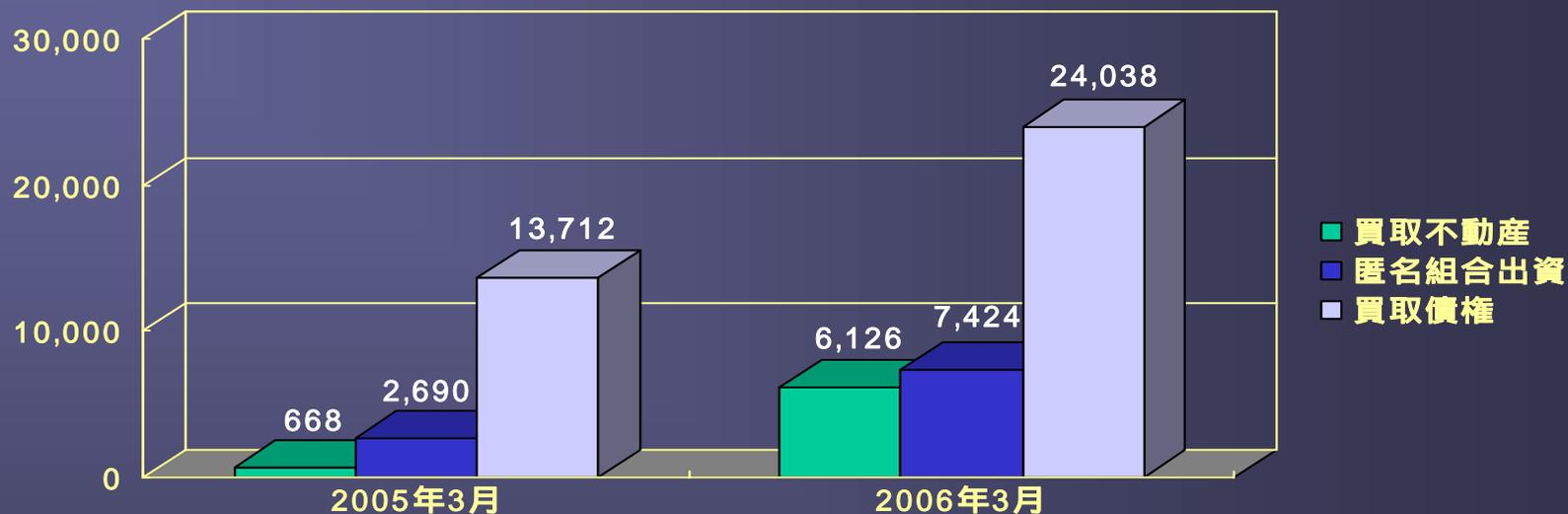
	保有期間	売却高	売却原価	総利益	摘要
物件A	6ヶ月	266	236	30	大阪市内の商業ビル
物件B	5ヶ月	183	144	39	東京都内の商業ビル
物件Cグループ (42物件売却)	4～12 ヶ月	860	752	107	銀行子会社が有していた店舗、住居等
物件D	3ヶ月	2,802	1,747	1,054	都内湾岸地区の倉庫
その他2物件	6～7ヶ月	96	72	23	ビジネスホテル等

計	—	4,209	2,953	1,255	
---	---	-------	-------	-------	--

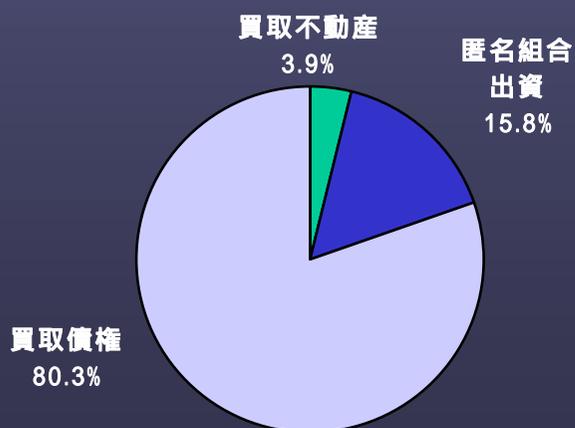
# 連結営業資産の内訳

(営業資産の推移)

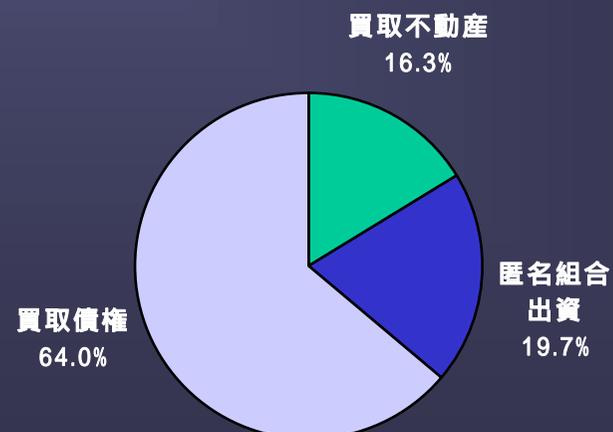
(単位:百万円)



(構成比)



合計 17,070百万円



合計 37,589百万円

# 主要経費の明細

(単位:百万円)

	2005年3月	構成比	2006年3月	構成比	前期比
貸倒関連費用	820	42.4%	1,185	42.0%	44.5%

貸倒引当金残高 05年3月 1,285百万円 06年3月 1,791百万円  
 貸倒引当率 05年3月 9.4% 06年3月 7.5%

	2005年3月	構成比	2006年3月	構成比	前期比
給料手当(賞与含)	417	21.6%	571	20.2%	36.8%

従業員(正社員) 05年3月 59名 06年3月 74名  
 06年3月 管理回収部門 30名(前年21名) アセットマネジメント部 23名(前年16名)

	2005年3月	構成比 (営業収益比)	2006年3月	構成比 (営業収益比)	前期比
販売・一般管理費合計	1,933	100.0% (17.3%)	2,821	100.0% (17.7%)	45.9%

## 借入金等の状況

	2005年3月		2006年3月	
		構成比		構成比
短期借入	1,599	10.7%	8,290	26.1%
長期借入	13,290	89.3%	23,526	73.9%
合計	14,890	100.0%	31,816	100.0%
有利子負債比率	72.7%		77.8%	
固定比率	31.4%		36.0%	
期末加重平均金利	2.2%		2.0%	

- ・取引先 05年03月 24社(銀行22行、ノンバンク2社)他シンジケート1、社債1  
06年03月 35社(銀行28行、ノンバンク3社)他シンジケート3、社債1
- ・第2回シンジケートローン総額5,800百万円、借入額4,170百万円、未実行額1,190百万円
- ・ニッシン限度契約7,000百万円、借入額3,900百万円、未実行額3,100百万円

# 連結業績概要

(単位:百万円)

	2005年3月	2006年3月	前期比
営業収益	11,198	15,947	42.4%
営業総利益	3,860	7,172	85.8%
営業総利益率	34.5%	45.0%	-
営業利益	1,926	4,351	125.8%
経常利益	1,761	4,029	128.7%
当期純利益	1,022	2,353	130.2%

# 2007年3月期の計画

# 個別方針

## 企業再生

メガバンクは不良債権比率の半減目標達成により、処理債権を破綻先等から破綻懸念・要注意先等にシフト

当社のサービシング・不動産関連ノウハウ及びNISグループの総合力を最大限に活用し、実行性の高い企業再生を目指す。

## 買取不動産

サービサーとしての投資情報を活かした物件取得。スピーディーな取得・売却判断により投資効率向上を追求する。

## 共同債権買取

新規取引先(他投資家)を開拓し、投資額増加を目指す。

## その他

中国不良債権投資の早期実行を目指す。  
NISグループ各社との連携強化。

# 連結業績計画

(単位:百万円)

	2006年3月期 実績	構成比	2007年3月期 計画	構成比	前期比
営業収益	15,947	100.0%	16,800	100.0%	5.3%
営業総利益	7,172	55.0%	8,600	51.2%	19.9%
営業利益	4,351	27.3%	5,000	30.0%	14.9%
経常利益	4,029	25.3%	4,500	26.8%	11.7%
当期純利益	2,353	14.8%	2,600	15.5%	10.5%

## 投資目標 合計400億円

- ・債権買取 200億円
- ・不動産買取 100億円
- ・匿名組合出資 100億円

# 參考資料

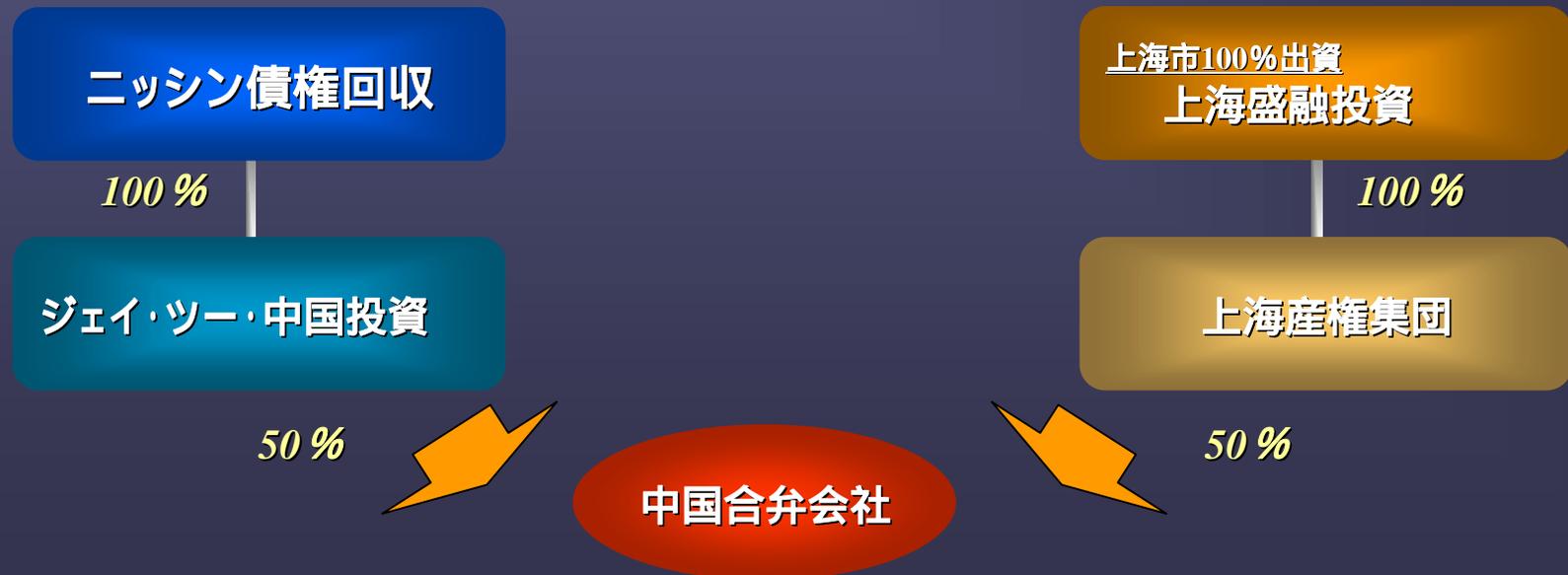
# 中国不良債権市場への参入

## 中国不良債権市場の状況

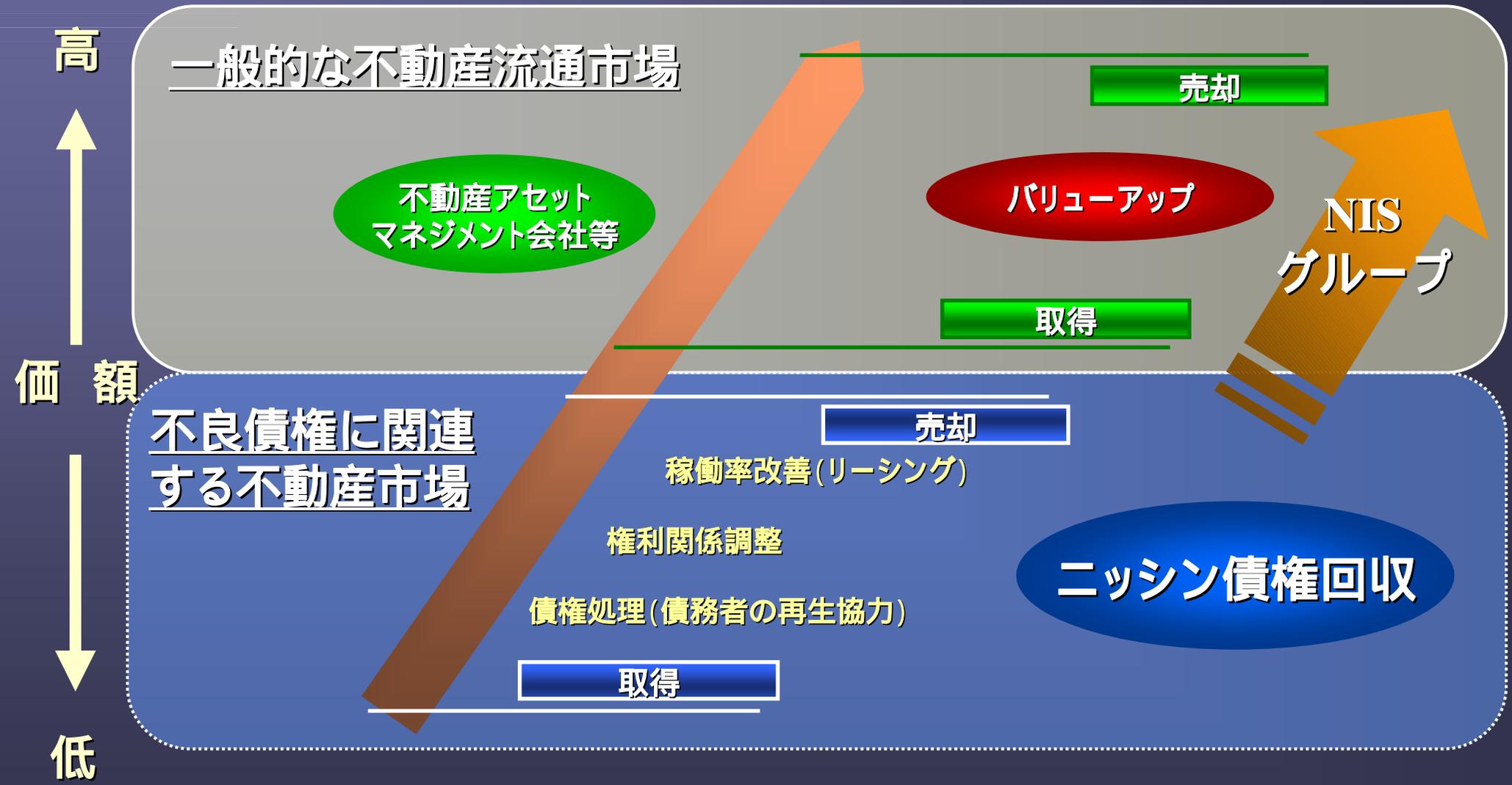
国営企業の民営化推進や四大銀行(中国銀行、建設銀行、工商銀行、農業銀行)の株式公開に向けて不良債権処理が活発に進められており、今後、不良債権流動化市場は急速に拡大していくものと予想される。

## 当社の取り組み

上海市政府の有力国営企業、上海産権集団と中国不良債権投資事業に関する基本合意書を締結し、同社グループが有する中国国内のネットワーク及び投資事業に関するノウハウと、当社が培ってきた不良債権投資、不動産関連のノウハウを融合し、中国における不良債権処理に貢献するとともに国有資産の有効利用等を提案していく。

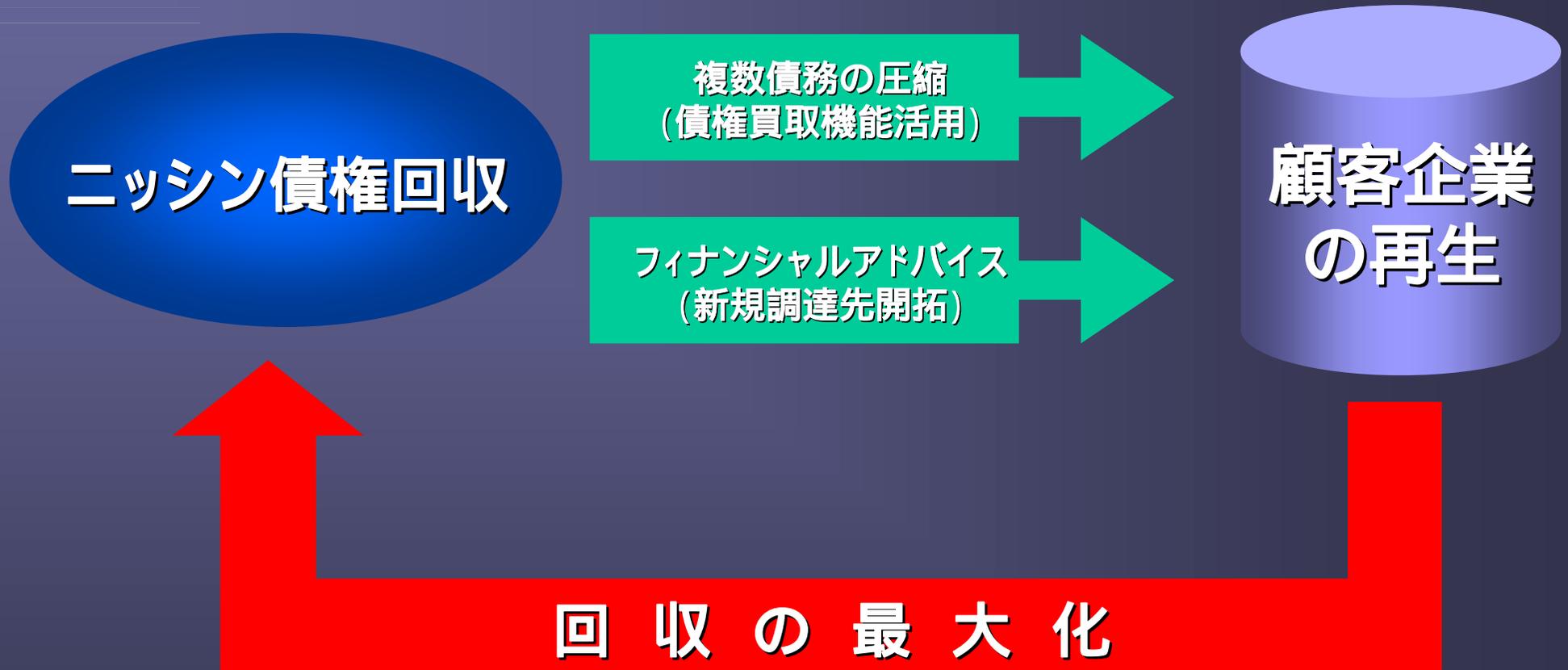


# 不動産市場におけるマーケットポジション



サービサー特有の情報を活かした不動産取得

# 企業再生業務



サービス特有の機能を活かした企業再生への取組み

# サービス業界のマーケットポジション

## 債権買取型

リース・不動産業系  
サービス

## 債権受託型

銀行・リース系  
外資系投資家  
サービス

独立系  
サービス

貸金業系  
サービス

流通カード・管理組合系  
サービス

高



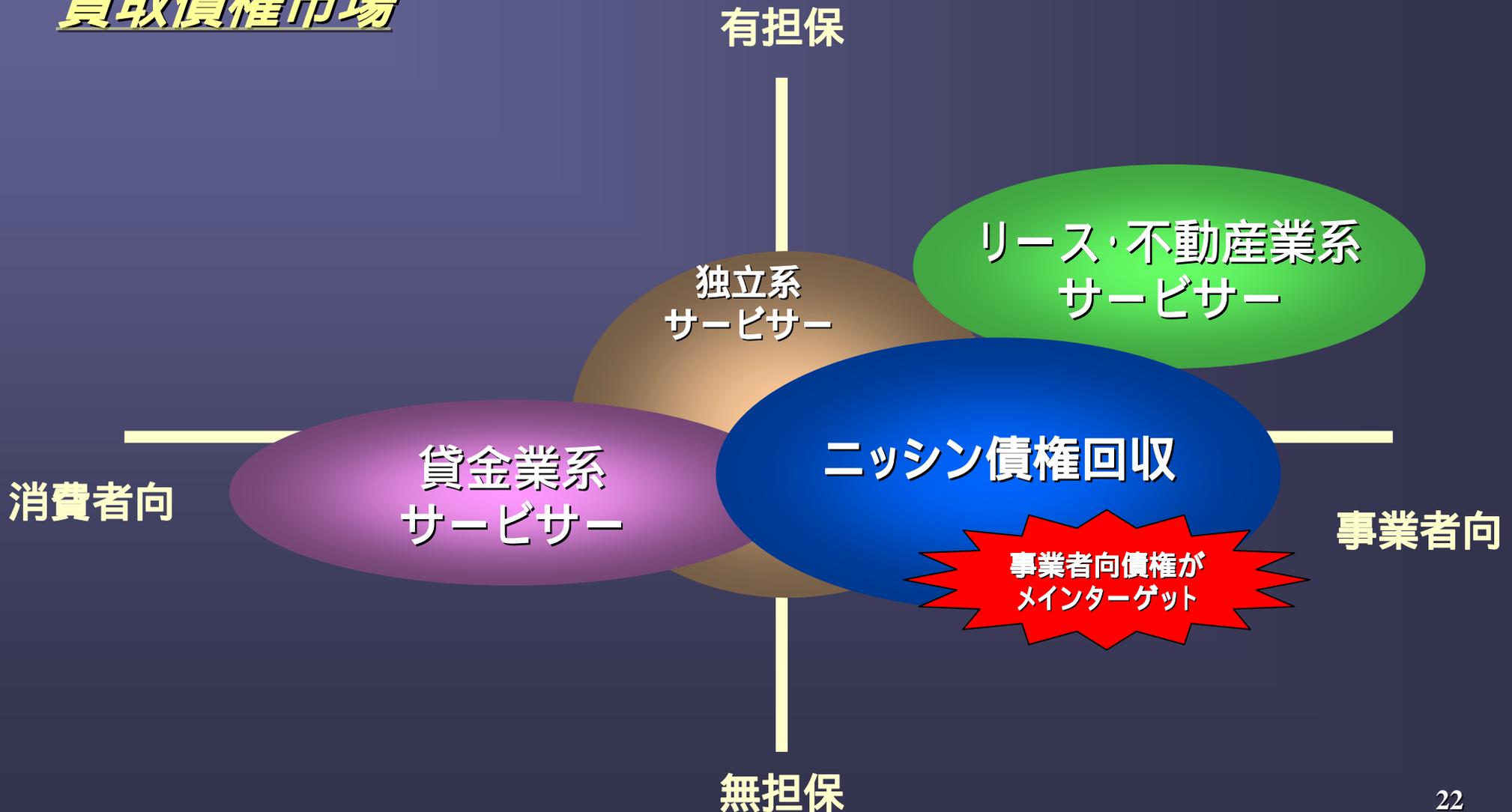
リスク  
リターン



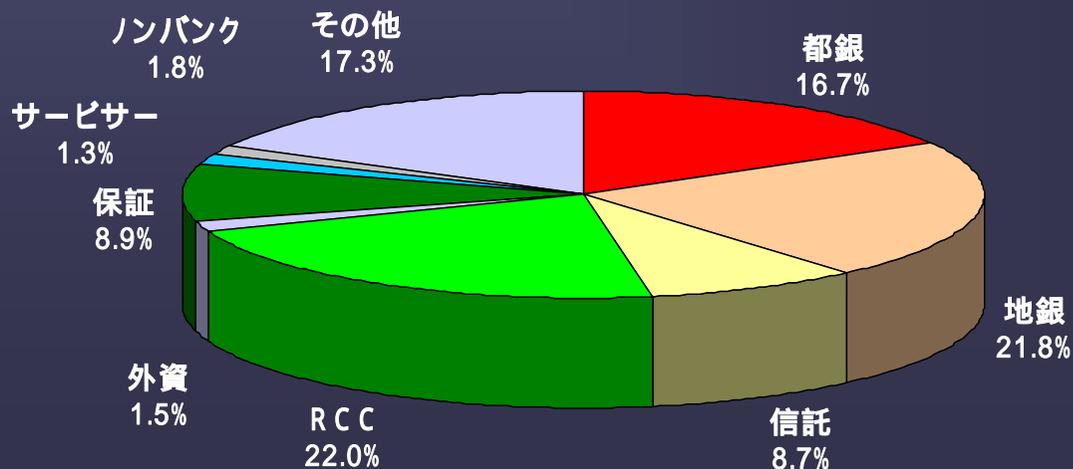
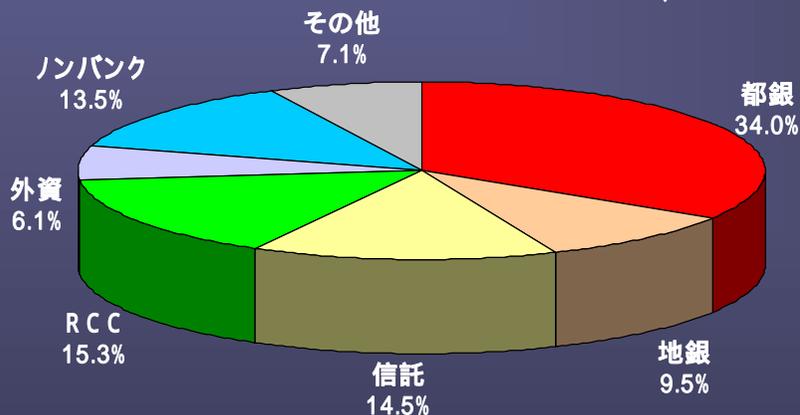
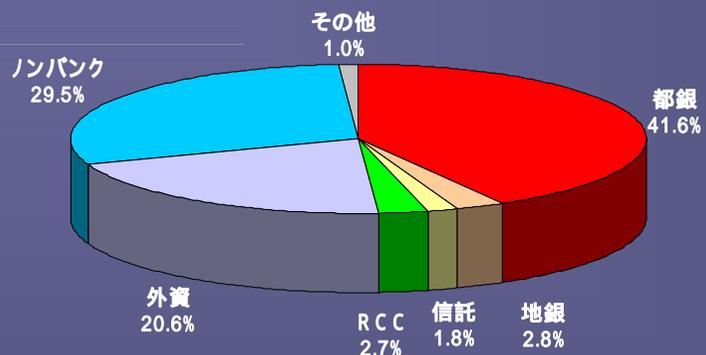
低

# 当社のマーケットポジションと競合

## 買取債権市場

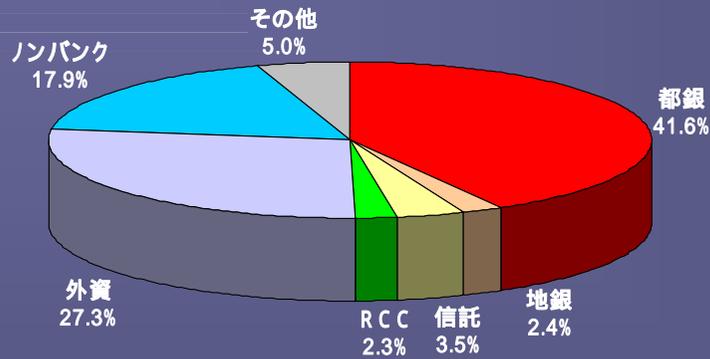


# 取引先別 買取債権(投資額)

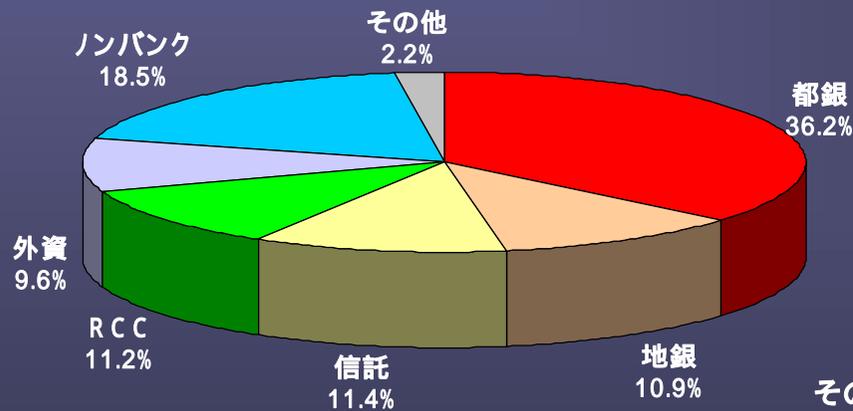


ニッシン債権回収の個別数値です。

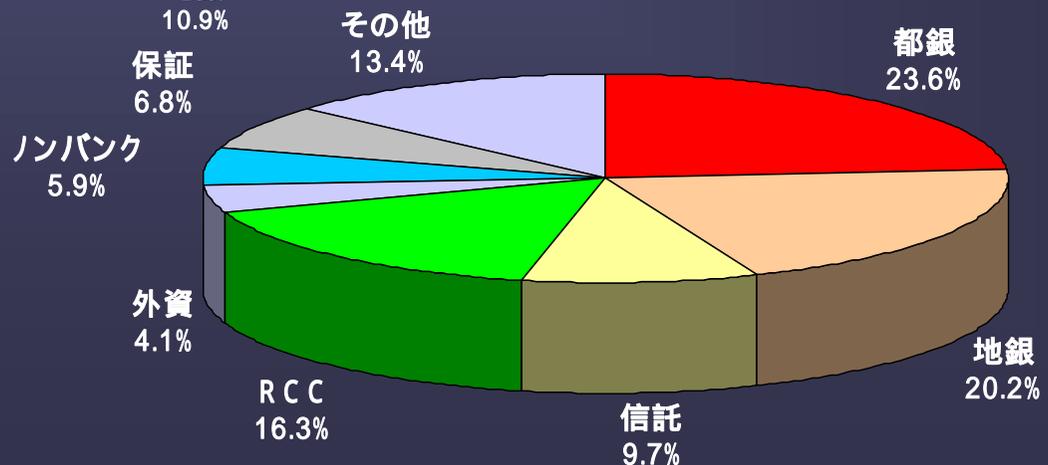
# 取引先別 買取債権(残高)



2004年3月期  
5,057百万円



2005年3月期  
11,600百万円



2006年3月期  
21,520百万円

ニッシン債権回収の個別数値です。

# 会社概要

商号	ニッシン債権回収 株式会社 (NISSIN SERVICER CO., LTD.)
本店所在地	東京都新宿区西新宿1-25-1 新宿センタービル8F
設立年月日	2001年7月11日
営業許可	法務大臣許可番号 58号
役員	代表取締役社長 天野量公 常務取締役 合田益己(事業開発部長) 取締役 清水克敏(アセットマネジメント部担当) 取締役 豊嶋秀直(弁護士) 取締役 寄岡秀夫(ニッシン代表取締役会長) 監査役(常勤) 新名忠矩 監査役 吉本修二(弁護士) 監査役 山田啓之 (06年3月末日現在)
従業員数	単体70名、連結74名(06年3月末日現在)
資本金	1,695百万円(06年3月末日現在)
主要株主	株式会社ニッシン74.6%(06年3月末日現在)
事業内容	不良債権の買取(投資)・回収業務、不良債権処理に関連する不動産業務 等
関連会社	連結子会社8社、持分法適用関連会社6社(06年3月末日現在)